令和元年度　　中央小学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1　教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】　心身ともに健康で，気力にあふれ，夢に向かって創造力とたくましい実践力を発揮し，新しい時代を拓く知性豊かな児童を育成する。

【 子ども像 】

○ よく考え，自ら学ぶ子
○ 健康で，粘り強くやり遂げる子
○ 誠実で，思いやりのある子
○ きまりを守り，責任を果たす子
○ 広い心を持ち，文化を大切にする子

≪ 合言葉 ≫
【 考える 】
【 やりぬく 】
【 助け合う 】

2　学校経営の理念（目指す学校像含む）

○「子ども」にとって　・・・・・・・・・　わくわくしながら登校し，満足して下校できる学校
○「教職員」にとって　・・・・・・・・・　自分の力を十分に発揮できる，やりがいのある学校
○「保護者」にとって　・・・・・・・・・　安心して子どもを通わせられる学校
○「地域」にとって　・・・・・・・・・・・　信頼できる開かれた学校

3　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1)人権を尊重し，心豊かな子どもを育成するために，多様な人々と共働する主体的な活動を取り入れ，よさを認め励まし，基本的な生活習慣の定着を図る心の教育の推進に努める。
(2)自ら学び，考え，表現する力を育成するために，意欲の向上と深い学びの実現に向けた学習指導の充実に努める。
(3)健やかでたくましく生きる子どもを育成するために，体力の向上と望ましい食習慣の形成と命を守る安全教育の充実に努める。
(4)家庭・地域・関係機関と連携した社会に開かれた教育課程を推進するために，地域の人的・物的資源を効果的に活用した，地域とともにある学校づくりに努める。
(5)教職員が共働・協働の意識を高め，使命感と専門職としての自覚のもと，研修に励み，信頼される職場づくりに努めるとともに，ゆとりを生み出す校務の効率化と勤務時間の適正化を図り，学校組織力の向上に努める。
○(6)旭地域学校園の教育ビジョンを目指し，地域内の小中学校の情報共有と共通実践を通して，小中連携の一層の充実に努める。

[旭地域学校園教育ビジョン]　「地域に愛される旭っ子」
地域社会の一員としての役割や責任を自覚し，家族や友人，地域の人々への感謝の気持ちをもち，思いやりをもって接するとともに，ルールやマナーを守るなどの社会性を身に付け，進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できる子どもを育てる。

4　教育課程編成の方針

児童・地域の実態や状況を考慮し，各種法令等，本校教育目標を踏まえ，家庭や地域と連携し，これからの社会を生きていくために必要な資質・能力である「生きる力」を培うことを目指した教育課程の編成に努める。

5　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】　○「大樹のごとく伸びる子」を育むために，学校の組織力を高め，学校・家庭・地域の連携・協働による特色ある教育活動を展開し，地域とともにある学校づくりを推進する。

【学習指導】　○主体的に取り組み，共に学び合う児童の育成
～　自ら考えを広げ，深めることのできる授業づくり　～

【児童生徒指導】　○基本的な生活習慣を身に付け，集団生活のルール・マナーを守る態度の育成
“**あ**っ**は**っ**は**と笑顔輝く学校に！”
～　**あ**いさつ・「**は**い」という返事・**は**きものをそろえる　～

【健康（保健安全・食育）・体力】　○自ら判断し，進んで健康で安全な生活をしようとする児童の育成
～「自分の力に合っためあてをもち，主体的に運動する児童」
「自分の体に関心をもち，健康で安全な生活ができる児童」をめざして

６　自己評価（評価項目のＡは市共通，Ｂは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

<table>
<tr><th>項目</th><th>評価項目</th><th>主な具体的な取組</th><th>方向性</th><th>評　価</th></tr>
<tr><td rowspan="2">目指す児童の姿</td><td>Ａ１　児童は，進んで学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，授業中，話をしっかりと聞いたり，発表したりするなど，進んで学習に取り組んでいる。」
⇒児童・教職員の
肯定的回答９０％以上
⇒保護者の
肯定的回答８５％以上</td><td>①授業の中で，児童が「知りたい」「解決したい」と思えるような課題の設定や提示の仕方を工夫して，知的好奇心を喚起し，児童の学びに対する主体性を高めます。
②落ち着いて話を聞いたり，自信をもって発表したりできる児童を育てるため，「話し方」，「聞き方」等の基本的な学習ルールの指導に努めます。</td><td>A</td><td>【達成状況】<table><tr><th></th><th>Ｈ３０</th><th>Ｒ１</th></tr><tr><td>児童</td><td>93.7%</td><td>89.5%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.2%</td><td>91.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td></td></tr></table>・教職員・保護者は目標数値の９０％，８５％をそれぞれ上回ったが，児童は目標数値に達しなかった。

【次年度の方針】
・児童の興味関心を高める課題設定や，対話的な学びの設定に努めるとともに，児童が主体的に学習に取り組めるよう指導・支援の工夫改善を図る。
・自信をもって自分の考えを伝えたり，友達の前で発表したりできるように，授業の中で，ペアやグループ，全体活動など学習形態を工夫し，話し合い活動や発表の機会を多く設定する。</td></tr>
<tr><td>Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」
⇒児童・教職員の
肯定的回答８５％以上，
⇒保護者・地域の
肯定的回答８０％以上</td><td>①異学年活動の充実を図り，高学年児童が自信をもってリーダーシップをとり，望ましい人間関係を構築できるよう支援します。
②児童が互いに認め合い，自己肯定感を育てられるよう，「特別の教科道徳」の充実を図り，認め，励ますなどの声掛けに努めます。</td><td>B</td><td>【達成状況】<table><tr><th></th><th>Ｈ３０</th><th>Ｒ１</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>88.5%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>92.6%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・保護者・地域とも目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・児童会活動や縦割り班での清掃活動や共遊などを通して，異学年の交流活動の機会を継続していくとともに，高学年が主体となって様々な学年の児童が交流できるよう促していく。
・「特別の教科道徳」において，自己の生き方を考え，深める学習活動をていねいに積み重ねると共に，日常生活においても互いに認め合い自己肯定感を高められるよう，様々な支援を行う。</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ３　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。
【数値指標】
全体アンケートの**「児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。」**
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①「ザウルスキッズ５つのやくそく」の意識化と実践化を図るため，『あはは』（あいさつ・「はい」という返事・はきものをそろえる）に焦点を当てた指導を行い，基本的な生活マナーを守っていこうとする態度の育成に努めます。
②安全な登下校の方法について，それぞれの担当場所の問題点について学校全体で情報を共有し児童への指導に当たります。
③月ごとの行事や気候に合わせた生活目標を設定し，帰りの会等で児童自身が振り返りを行うことで，望ましい生活習慣の確立に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.8%</td><td>88.0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.3%</td><td>92.0%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域とも目標数値の８０％上回った。

【次年度の方針】
・『ザウルスキッズ５つのやくそく』をより具体化した，『あはは』（あいさつ・「はい」という返事・はきものをそろえる）に焦点を当てた指導を全教職員が一丸となり，継続して行う。
・きまりやマナーに対する指導内容や掲示物を精選しポイントを絞った指導を行う。また，児童自身が望ましい姿をイメージできるように工夫する。
・児童会が中心となり月別の生活目標の確認と振り返りを繰返し行い，児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ４　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。
【数値指標】
全体アンケートの「**児童は，時と場に応じたあいさつをしている。**」
⇒児童・教職員の
肯定的回答９０％以上，
⇒保護者・地域の
肯定的回答８０％以上</td>
<td>①教職員が率先して明るいあいさつの実践，声掛けに努めます
②地域や家庭，中学校と連携を図り，全校体制であいさつ運動を実施し，学校内・外での元気なあいさつの習慣化を図ります。
・「あいさつ週間」における登校班の班長を中心としたあいさつ運動の展開
・高学年を中心とした自主的なあいさつ運動の展開
③道徳，学級活動，日々の指導を通してあいさつの種類や時と場に応じたあいさつについて指導していきます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>93.7%</td><td>95.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>92.0%</td><td>91.3%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>79.1%</td><td>81.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>81.8%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・保護者・地域とも目標数値を上回った。保護者の肯定的回答率は，目標値の８０％を上回ったが，児童とは 14 ポイントの差がある。

【次年度の方針】
・教職員が率先してあいさつや声掛けの実践に努め，児童が自主的にあいさつできる習慣の定着を図る。
・校内だけでなく，保護者，地域と連携してあいさつの励行を推進するとともに，あいさつがよくできている児童を称賛する場を設ける。
・あいさつ週間やあいさつの日などに，これまでの高学年主体の活動から，低学年の児童も参加できるようになった今年度の活動を継続する。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ５　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの**「児童は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」**
⇒児童・教職員の
肯定的回答８５％以上，
⇒保護者の
肯定的回答８０％以上</td>
<td>①より高い目標を立て「挑戦する」体験活動や「がまんして」やり続ける活動，「あきらめず」に努力し，後までやり遂げる活動を設定し，児童が達成感や成就感を味わうことができるように努めます。
・水泳検定
・持久走大会
・長縄チャレンジ

②「宮っ子心の教育表彰」を活用して学校独自の表彰制度を整えるなど，児童のよさや努力等を積極的に認め，励ます教育に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>90.1%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>80.4%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者とも目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・様々な挑戦の機会を生かし，最後までやり遂げられるよう支援したり称賛や承認の場面を設定したりすることで達成感や成就感を味わわせるようにする。
・表彰することに限らず，学校全体の月別目標と学級や個人の目標を関連させ，一人一人が目標達成に向け実践継続させるなど，更に実効性・自己肯定感が高められるように努める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ６　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。
【数値指標】
全体アンケートの「**児童は，健康や安全に気を付けて生活している。**」
⇒児童・教職員の
肯定的回答９０％以上
⇒保護者・地域の
肯定的回答８５％以上</td>
<td>①関係諸機関と連携して交通安全教室，防犯教室を行うとともに，様々な危険を想定した避難訓練を実施することを通して，「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実に努めます。

②健康な体作りができるように，運動・食事・睡眠などの健康的な生活習慣や病気・けがの予防法について指導していきます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>95.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>93.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域全てが９０％を上回り，目標を達成することができた。

【次年度の方針】
・学校生活の安全ルールを具体的な場面を用いて示し，適切な行動がとれるように指導するとともに，身の回りに潜む様々な危険を知らせ，児童の危険回避に対する意識を高める指導に努める。
・委員会児童による啓発や保健の授業，外部講師を活用する授業などを通して，児童の健康的な生活や病気・けがの予防への意識を高めることができるよう指導・支援の機会を計画的・継続的に実施する。
・保健便りなどで，簡単にできて親子の触れ合いがある運動を紹介し，家庭での運動を促進する。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ７　児童は，夢や目標をもって，社会に貢献できるよう努力している。
【数値指標】
全体アンケートの**「児童は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」**
⇒児童・教職員の
肯定的回答８５％以上，
⇒保護者の
肯定的回答８０％以上，</td>
<td>・自分自身の将来の夢や目標をもつことができるように，外部講師による「未来体験」や「教えて先輩」などの活動や地域清掃などの体験を計画実施し，社会に目を向け努力できるよう支援します。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】再掲５
<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>90.1%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>80.4%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者とも目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・「未来体験」や「教えて先輩」,「地域清掃」などの体験を通し自分自身の将来の夢や目標をもつことができるよう支援する。
・教科学習や特別活動等の様々な場面で，児童一人一人に目あてを持たせ，達成のために継続して努力を続けることを指導し，その努力を評価・称賛し合い，最後までがんばる心を育てる。
・児童一人一人のがんばりを，保護者に理解してもらえるよう，各種たより，ホームページ等で伝えていく。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ８　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。
【数値指標】
全体アンケートの**「児童は，外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている。」**
⇒児童・教職員の
肯定的回答９０％以上</td>
<td>①児童生徒が，英語を使って自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができるよう，教員が自ら積極的に英語を使うとともに，ＡＬＴを活用した，英語によるやりとりを中心とした授業を推進します。

②英語のネイティブスピーカーであるＡＬＴを，授業はもとより休み時間や放課後などあらゆる時間において活用し，児童生徒が生きた英語に触れる機会の充実を図ります。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>96.9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員とも目標数値の９０％を大きく上回った。

【次年度の方針】
・児童の英語でのコミュニケーション力を高めるため，教員は，ALT と授業の目標や活動内容について共通理解を図り，英語で会話する効果的な学習を展開する。
・児童が生きた英語に親しめるように，引き続き昼休みや清掃の時間など授業以外でのALT とのふれあいの機会を数多く設定し活用していく。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ９　児童は，宇都宮の良さを知っている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，宇都宮の良さを知っている。」
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①児童が，郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて知り，郷土への愛情と誇りをもてるよう，大谷地区及び食文化を学ぶ授業や「百人一首」に親しむ学習を推進します。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>88.0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>82.6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>77.8%</td></tr></table>・児童・教職員の肯定的回答が目標の８０％を上回ったが，保護者は目標数値に達しなかった。

【次年度の方針】
・来年度から始まる「宇都宮学」の学習において，地域の人材や施設等を生かした見学・体験活動を充実し，郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて知り，郷土への愛情と誇りをもてるよう支援する。
・地域やPTA，各子ども会と協力しボランティア活動の内容や各種行事の開催等を，各種便りや児童が作成したポスター等で周知することに努め，児童が積極的に参加するよう働きかけていく。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ10　児童は，ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。
【数値指標】
全体アンケートの「児童（生徒）は，パソコンや図書等を学習に活用している。」
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①これからの社会に求められる情報活用能力を育成するために「情報モラル教育」や「パソコンを活用した授業の実施」「プログラミング教育の推進」等の充実を図ります。

②学習における図鑑などの書籍や新聞等の活用を推進し，図書室の学習センター・情報センターとしての機能を充実させます。</td>
<td>A</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>79.1%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>87.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>71.1%</td></tr></table>・教職員は目標数値の８５％を上回ったが，児童・保護者は達しなかった。

【次年度の方針】
・来年度から始まる「プログラミング教育」を多くの教科の中で実施するとともに，今年度導入されたタブレット型パソコンを有効に活用し，パソコン室以外でも授業の中で効果的に取り入れていく。
・調べ学習等で活用しやすいように，書籍を整理したり，テーマごとに分類した資料を作成したりするなどして，積極的に図書の活用を促進する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ11　児童は，高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。
【数値指標】(A2)
全体アンケートの「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」
⇒児童・教職員の
肯定的回答８５％以上，
⇒保護者・地域の
肯定的回答８０％以上</td>
<td>①高齢者との「ふれあい給食」や学校支援ボランティアとの交流，「感謝の会」などを通して思いやりの気持ちなどを育てます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】再掲２<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>88.5%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>92.6%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域とも目標数値を上回った。
【次年度の方針】
・生活科や社会科などの学校ボランティアを招いて学習の中で尊敬や感謝の気持ちを育んでいく。
・高齢者との「ふれあい給食」において高齢者が楽しめる催しを考え実践することを通して，いたわりや思いやりの心を育めるよう支援する。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ12　児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，環境問題や防災等の「持続可能な社会」について，関心をもっている。」
⇒児童・教職員の
肯定的回答８０％以上</td>
<td>①国語・社会・総合的な学習の時間等において，環境問題やエネルギー問題，防災等の「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図ります。
②エコキャップ回収や地域クリーン活動，宇都宮市役所景観みどり課と行う「緑いっぱい活動」，教材園活動など，環境に関わる教育活動を展開します。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ1</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>86.4%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>69.6%</td></tr></table>・児童の目標数値は上回ったが，教職員は下回った。

【次年度の方針】
・環境保全を目的としたエコキャップ回収やクリーン活動，ゴミの分別などの活動を継続して行いつつ，各教室に『SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる 17 の目標』を掲示し，授業や学校行事と関連付けた学習を展開することにより児童および教職員の関心・理解を高める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ｂ１　家庭学習の習慣を身に付けている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，家庭学習や自主学習に進んで取り組んでいる」
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答９０％以上</td>
<td>①家庭と連携して，「家庭学習マイプラン」により，宿題の出し方を工夫し家庭学習の習慣化を推進していきます。
②学年の発達段階に合わせた自主学習の方法や内容について指導し，継続して取り組めるように，手本となる児童のノートを称賛するなど児童の意欲喚起に努めます。</td>
<td>A</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>69.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>76.9%</td></tr></table>・児童･保護者は目標数値の９０%に達しなかった。

【次年度の方針】
・「家庭学習マイプラン」を工夫改善しながら家庭学習の実施を推奨し，習慣化をさらに図るための指導に努める。
・「ノート賞」の実施や自主学習ノートの模範例の提示などを行い，児童の自主学習への意欲を高める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ｂ２　児童は，読書習慣を身に付けている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，読書活動に進んで取り組んでいる」
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答９０％以上</td>
<td>①朝の読書の時間や，学校支援ボランティアによる読み聞かせの定期的な実施により，本に親しむ機会を多く設定し，児童の興味関心を高めます。
②チャレンジブックの実施，読書週間でのイベント等を通して，豊かな感性を育む読書活動の推進に努めます。</td>
<td>A</td>
<td>達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>68.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>65.5%</td></tr></table>・児童･保護者は目標数値の９０%を大きく下回った

【次年度の方針】
・これまでの，朝の読書の時間の確保や学校支援ボランティアによる読み聞かせに加え，教職員によるブックトークを行うなどして児童の興味・関心を高める。
・読書週間のイベントやチャレンジブックの他お昼の校内放送を活用して，定期的に新刊や図書の紹介，お話給食など児童が主体となった活動を実施するなど，児童の読書への関心を高める取り組みを工夫する。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td rowspan="2">目指す学校の姿</td>
<td>A13　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。
【数値指標】
全体アンケートの「教職員は，特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて，適切な支援をしている。」
⇒教職員の
肯定的回答８５％以上</td>
<td>①日常の観察や相談活動のほか教育相談週間やQ-U検査など，多くの視点から児童理解に努めます。

②通常の学級で特別な支援を必要とする児童の様々な教育的ニーズに対応するため，かがやきルームや特別支援学級，通級指導教室の効果的活用を図るとともに少人数指導や TT など個に応じた指導・支援に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・教職員の目標数値の８５％を上回った。

【次年度の方針】
・次年度も継続して教職員間で，教育的ニーズの情報共有を図り，児童の実態に応じてユニバーサルデザインに基づく授業を実施するなど，適切な支援を行うよう努める。</td>
</tr>
<tr>
<td>A14　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は，いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上</td>
<td>①児童についての日常の情報交換や観察，教育相談，アンケート調査等をとおして，児童の実態把握，いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに，「ネットコミュニケーションのマナーやルールの大切さと危険性」について，懇談会等の機会を利用して児童・保護者への啓発に努めます。

②教科や道徳，学級活動の時間に，「いじめ」は絶対に許されないということを，継続指導していきます。

③「いじめゼロ強調月間」を設定し，全校集会を行い，全児童が作った標語を教室に掲示するなどして意識付けを図ります。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>98.5%</td><td>97.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.7%</td><td>84.3%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>93.3%</td></tr></table>・児童・教職員・地域は目標数値を超えたが，児童・保護者・地域について昨年度よりポイントが下がった。保護者は目標値の９０％に達しなかった。

【次年度の方針】
・いじめの早期発見・早期解決に向けて，教職員間の情報交換を密に行うとともに，いじめ防止基本方針をもとに，年間を通してアンケートや教育相談を計画的に実施し事案や子供の不安が把握した場合は，事実の把握と迅速かつ継続した指導支援を組織で行う。
・中学校と連携した，いじめ標語やポスターなどの交換や一人一人が考えて発表する場面を設けたいじめゼロ集会を行うことで，児童のいじめゼロへの意識の高揚を図る。
・教科や道徳，学級活動の時間の継続指導はもちろん，今後さらに，いじめに関する学校の様々な取組を学校ホームページや学年だよりで積極的に知らせるとともに，教育相談を実施して得られた情報を保護者会などで話題として提供するなど情報の共有に努める。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ15　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。
【数値指標】
全体アンケートの**「教職員は，不登校を生まないよう，一人一人の児童を大切にし，児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」**
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①「挨拶」「励まし」「称賛」等の，お互いをより身近に感じることができるような気軽な言葉かけを行ったり，主体的に活動する場面や，活躍できる場面を授業の中に設定したりするなど，すべての児童にとって居がいのある，温かい雰囲気の学級経営を行います。
②不登校の兆しを見逃さずに早期対応を確実に行うともに，教育相談やQ-Uテストを通して児童の悩みや困り感の早期発見に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>94.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>91.8%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者の全てが９０％を超え，目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・教職員間や保護者との情報交換を密に行うとともに，日常の児童観察，定期的なアンケートや教育相談の実施，さらにQ-Uテストとその分析などにより児童の悩みを適切にとらえて指導・支援にあたる。
・普段から子ども同士の人間関係やつながりに注意し，ちょっとした様子の変化を見逃さず，積極的に教職員から声をかけ，温かい雰囲気の学級を作る。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ16　教職員は，外国人児童生徒等の実態に応じて，適切な支援をしている。
【数値指標】
全体アンケートの「**教職員は，特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて，適切な支援をしている。」**
⇒教職員の
肯定的回答８５％以上</td>
<td>①外国人児童等，支援が必要な児童に対して，充実した学校生活を送ることができるように，関係機関と連携し，様々な障害を克服することができる支援体制づくりに努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・教職員の目標数値の８５％を上回った。

【次年度の方針】
・個々の児童の実態や特性を把握し，配慮等の必要性を教職員で共通理解し，適切な支援を行う。
・保護者や関係機関と連携し，合理的配慮の提供に努める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ17　学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校全体に活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。」**
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上</td>
<td>①児童一人一人の話をよく聞き，声を掛け，よいところを認めて伸ばす指導に努めます。
②児童会活動や縦割り班活動の充実，学校行事の工夫・改善を通して，児童が主体的に活動する場を多く設定することで，楽しく活気あふれる学校づくりを目指します。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>97.1%</td><td>90.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>97.4%</td><td>94.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・保護者の数値が昨年度より少し低下しているものの，全て９０％を超え目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・休み時間の外遊びを奨励し，より活気のある雰囲気作りをする。
・本校の特色であるザウルスキッズ縦割り班活動や児童会活動を充実させることで異学年間の交流を活発にし，また，学校支援ボランティアの積極的な活用による様々な体験交流活動を充実して，児童にとって「居がい感」のある学校づくりを進める。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ18　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。
【数値指標】
全体アンケートの**「教職員は，児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど，きめ細かな指導をしている。」**
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答９０％以上</td>
<td>①授業の「ねらい」を明確にし，ねらいや目標を達成させるための「手だて」を工夫し，児童が主体的に学びに取り組めるように，指導・支援方法の改善に努めます。
②確かな学力を育成するため，少人数指導，習熟度別指導，Ｔ・Ｔ，かがやきルームでの指導など，個に応じた指導の更なる充実に努めます
③朝の活動（パワーアップタイム）の時間に，担任以外の教職員も加わり，複数の指導体制による学習支援を行い，学級・学校全体の学力向上に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>97.6%</td><td>97.9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.3%</td><td>82.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td></td></tr></table>・保護者は目標値に達しなかったが，児童・教職員は目標数値の９０％を上回った。

【次年度の方針】
・教科の目標が反映された狙いと振り返りの実施や教材や手立てを工夫した授業の実践に努め，分かる授業づくりに取り組んでいく。
・学校体制での学習支援や少人数指導，かがやきルームでの指導に加えて，各教室でも児童の理解度に応じた指導が充実するよう工夫する。
・業務のスリム化によりこれまで以上に，教材研究の時間や児童と向き合う時間を確保し児童の状況に応じた指導に努める。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ19　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」**
⇒教職員の
肯定的回答　８５％以上</td>
<td>①様々な職員の専門性を生かし，効果的・効率的に授業や業務が行われるよう連携します。
②学校行事や校内研修において，児童についての情報を共有したり，質の高い指導法を学び合ったり，全教職員が一丸となって，児童の指導を充実させます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>R1</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・教職員の目標数値の８５％を上回った。

【次年度の方針】
・日頃から良好な人間関係作りに努め，各自の専門性や強みを活かした各事業の計画を立て実践してきた。今後も，専門性を有する教職員が，当事者意識をもちながら学校課題解決に向けて連携を図る。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ20　学校は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」**
⇒教職員の
肯定的回答８５％以上</td>
<td>①働き方を見直すことで，時間を確保し一人一人の児童と向き合い，適切な指導・支援に努めます。
②多様な専門性を有する学校スタッフが共同して教材を作成したり，資料収集したりすることで，児童の指導を充実させていきます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>教職員</td><td>84.0%</td><td>91.3%</td></tr></table>・教職員の目標数値の８５％を上回った。

【次年度の方針】
・今後も，各自が担当する業務内容の見直し・それぞれのスタッフが専門性を発揮できる業務内容と役割分担を設定し，教員の業務負担軽減に取り組み，児童と向き合う時間を確保し適切な指導・支援に努める。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ21　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校は，小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」**
⇒教職員・5・6年児童の肯定的回答８５％以上
⇒保護者・地域の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①登校指導時における「中学生との合同あいさつ運動」や運動会での中学生ボランティア等，小学生と中学生が交流を図れる活動を工夫し，地域社会の一員として互いにつながり合って生きていこうとする意識を高めます。
②<u>各教科の９年間を見通した年間指導計画の実践や授業力向上のための小中合同研修の推進等により，９年間を見通した学力向上の推進を図ります</u>。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.8%</td><td>88.5%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.0%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.8%</td><td>85.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域住民の目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・引き続き，小中合同あいさつ運動，中学生の運動会へのボランティア参加，宮っ子チャレンジウィーク等の連携事業をとおして，全学年で交流できるように推進する。
・乗り入れ授業や学校園教職員研修の機会を通して，小中教職員の相互理解や児童生徒理解を進め授業法の工夫・改善を図る。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ22　学校は，地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校は，家庭，地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。」**
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①地域のボランティアや専門家を学校に招き，学年に応じた様々な体験活動を実施するなど地域から学ぶ特色ある教育活動に努めます。
②学校・家庭・地域が一体となり児童を育てるために，学校行事，学習，生活指導等において家庭・地域の参加を得た活動を展開・実践します。
③学年だよりやホームページで，学校行事や学校の様子，学校の取組を積極的に発信し，理解と協力が得られるようにていきます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>95.6%</td><td>95.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.9%</td><td>97.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域とも目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・地域と連携した行事について広く知らせて参加を促すための声掛けに努めるとともに，１～３年と高齢者とのふれあい給食や地域清掃などのボランティア活動について学校だよりやホームページで積極的に紹介する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ23　学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，よりよい児童の育成に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校は，家庭，地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。」**
⇒教職員・教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①学校支援ボランティアやコミュニティセンター，オリオン通り商店会などと連携し，学校と保護者，地域が一体となった教育活動を推進し，児童が多くの人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させます。
②ＰＴＡ運営委員会や地域協議会で学校の取組を説明し，学校の現状や課題について理解していただき，改善策を検討して実践していくなど地域・保護者と連携・協力して学校教育活動の充実に努めます。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】再掲２２<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td>95.6%</td><td>95.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.9%</td><td>97.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>・児童・教職員・保護者・地域とも目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・学校支援ボランティアや中央コミセン，オリオン通り商店会などと連携を図りながら，児童が達成感・充実感を得ることができるように活動方法を工夫改善し，地域の人材・施設を有効活用した教育活動 を推進していく。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ24　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケートの**「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」**
⇒教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①定期的な安全点検を実施し，迅速な修繕・補修による適切な学習環境の整備に努めます。

②保護者や学校支援ボランティアと連携を図り，壁面や廊下等を活用して児童の作品を掲示するなど，学習や活動の意欲を高める温かな環境づくりを推進します。</td>
<td>B</td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>R1</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>95.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table>・教職員・保護者・地域住民の回答が９５％を超え，目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・定期的な安全点検の実施や迅速な修繕・補修，ＰＴＡや学校支援ボランティアとの連携による校内環境の整備，学習しやすい環境づくりに努める。
・教材備品の保管場所や教室や廊下等の整理整頓に心掛け，学習しやすい環境を整え児童の学習意欲や活動意欲の向上を図る。
・縦割り班清掃活動において，清掃強化週間等に清掃の具体的なポイントを提示するなど，児童の清掃に対する意識をさらに高める取り組みを実施する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ25　学校は，学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。
【数値指標】
全体アンケートの**「児童は，パソコンや図書等を学習に活用している。」**
⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①児童の興味を高めたり，理解を深めたりする上で効果的なＩＣＴ機器や図書等を整え，環境づくりに努めます。

②教材・教具の保管場所や方法を見直し，有効活用できるようにしていきます。</td>
<td>A</td>
<td>【達成状況】再掲１０
<table><tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>79.1%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>87.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>71.1%</td></tr></table>・教職員は目標数値の８５％を上回ったが，児童・保護者は達しなかった。

【次年度の方針】
・本年度導入されたタブレット型パソコンと，これまでの ICT 機器を効果的に関連付けて活用できるよう設置場所やセットにする機材を工夫し，手軽に使える環境整備に努める。
・学習内容や活動から必要となる参考図書を選出し図書室や各学級に補充を進めるとともに市立図書館の資料も積極的に活用し図書の充実を図っていく。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td rowspan="2">本校の特色・課題等</td>
<td rowspan="2">Ｂ３
「自分・友だち・中央地区」みんな大好き夢いっぱい事業を掲げ，「学び」・「やさしさ」・「生きる力」の育成を図る。

【数値指標】
全体アンケートの「「考える」「やりぬく」「たすけあう」ザウルスキッズとして縦割り班活動や地域の行事などに一生懸命取り組んでいる。」
⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①本校のマスコットである「ザウルス」を活用し，「考える」「やりぬく」「たすけあう」のあいことばを意識させた各種活動の充実に努めます。</td>
<td rowspan="2">B</td>
<td rowspan="2">【達成状況】
<table>
<tr><td></td><td>Ｈ３０</td><td>Ｒ１</td></tr>
<tr><td>児童</td><td></td><td>93.7%</td></tr>
<tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr>
<tr><td>保護者</td><td></td><td>91.2%</td></tr>
<tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr>
</table>
・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答が９０％を超え，目標数値を上回った。

【次年度の方針】
・校内での縦割り活動「ザウルスランキング」，地域との連携事業「もちつき・すすはらい」「防災訓練」「心が元気になる音楽会」，中央地区や本校にかかわりの深い方々の話を聞く「教えて先輩」等の事業をとおして，児童の自発性や積極性を高め「学ぶ力」・「やさしさ」・「生きる力」を育てる。
・地域の方と連携し，より中央地区を理解し，愛着を持つことができるような体験活動を充実させるとともに，地域行事にも積極的に参加し貢献できるよう努める。
・ザウルスキッズとして「考える」「やりぬく」「たすけあう」の合言葉を意識させ，体験活動や縦割り班活動，地域行事への参加など様々な人との関わりの中で，自己を高めることができるよう努める。</td>
</tr>
<tr>
<td>②様々な人との関わりの中で，自己を高めることができるよう，体験活動や縦割り班活動，地域行事への参加など特色ある活動の展開に努めます。</td>
</tr>
</table>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

多くの項目で学校の目標数値を達成することができた。学校運営に関して，全職員の共通理解を図りながら，全校体制で授業改善や校務運営にあたり，ＰＴＡや地域協議会の支援・協力を得ることで，学習環境・生活環境の充実が図られたことによる成果と考えられる。今後さらに，児童一人一人の様々な挑戦の機会を生かし，最後までやり遂げられるよう支援することで，達成感や成就感を味わわせ，生き生きと活躍できる学校づくりに努めたい。また，今回新たに設定された「児童は，宇都宮の良さを知っている」や「児童は，環境問題や防災等の「持続可能な社会」について，関心をもっている」については，児童の肯定的回答は目標を上回ったが保護者や教職員は目標数値に達しなかった。来年度から始まる「宇都宮学」の内容や「ＳＤＧｓが掲げる１７の目標」などについて，十分に理解されていない部分も多いことから地域や保護者に周知し，児童が郷土や自国への愛情と誇りを高める取組を実践していきたい。

１ ≪学校運営≫学校の組織力を高め，学校・家庭・地域の連携・協働による特色ある教育活動の展開

職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでおり，様々な場面で児童一人一人のがんばりを認め自尊感情を高めるよう努めてきたことで「児童は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる」「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している」「学校全体に活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である」「「考える」「やりぬく」「たすけあう」ザウルスキッズとして縦割り班活動や地域の行事などに一生懸命取り組んでいる」等の項目について，児童・教職員・保護者とも目標数値を上回った。

今後も児童が達成感・充実感を得ることができるように，教職員が学校課題解決に向けて連携を図ると共に活動を工夫改善し，地域の人材・施設を有効活用した教育活動を推進していく。また，地域への愛情や，自己肯定感を高めることができるよう，学校支援ボランティアや中央コミセン，オリオン通り商店会等の地域の方々と連携して「自分・友だち・中央地区みんな大好き夢いっぱい事業」を展開し，ザウルスキッズの合言葉「考える」「やりぬく」「たすけあう」の実践化を図っていきたい。

２ ≪生活・児童指導≫基本的な生活習慣を身に付け，集団生活のルール・マナーを守る態度の育成

「ザウルスキッズ５つのやくそく」の意識化と実践化を図るため，基本的な生活マナーを守っていこうとする態度の育成に焦点を当てた指導を全教職員で継続して行ってきたことで「児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている」「児童は，時と場に応じたあいさつをしている」「教職員はいじめが許されない行為であることを指導している」について児童・保護者・地域とも目標数値を上回った。しかし，「あいさつ」や「いじめ」の同項目等において，目標数値を上回ってはいるが保護者の肯定的回答率が児童と比べて 10 ポイント以上の差があり，必ずしも十分な状況とは言えない。

今後はさらに，教職員・保護者・児童が一体となって対応できるようにするために，家族や友達，地域の人々への感謝の気持ちをもち，元気なあいさつやルール・マナーを守る態度を身に付け，自ら進んで実践できるようにする。また，学校の様々な取組を学校ホームページや学年だよりで積極的に知らせるとともに，教育相談を実施して得られた情報を保護者会などで話題として提供するなど情報の共有に努めていきたい。

３ ≪健康・体力≫自ら判断し，進んで健康で安全な生活をしようとする児童の育成

学校生活の安全ルールを示すとともに，児童の危険回避に対する意識を高める様々な場面での安全指導に取り組んできたことで，「児童は，健康や安全に気を付けて生活している」「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」について児童・教職員・保護者・地域全てが目標数値を上回った。

引き続き　目標をもって楽しく運動するための様々な取組の実施や，休み時間に進んで外遊びを奨励するなど，運動への意欲を高め，自ら進んで取組めるようにする。また，地域・保護者と連携し，学校と同じ方針で支援してもらえるように健康や体力に関する情報を発信・周知していく方策を工夫改善していく。

４ ≪学習≫　主体的に取り組み，共に学び合う児童の育成

児童の学びに対する主体性を高めるため，授業の中で知的好奇心を喚起し「知りたい」「解決したい」と思えるような課題の設定や提示の仕方を工夫してきたが「進んで学習に取り組んでいる」「児童は，家庭学習や自主学習に進んで取り組んでいる」など目標数値に達しないものもあった。特に「児童は，読書習慣を身に付けている。」「児童は，パソコンや図書等を学習に活用している」については，大きく目標数値を下回った。それらの結果を受け，今後さらに，主体的で充実した活動になるように，学習指導について工夫改善していく必要がある。興味・関心を高め課題設定に加え対話的な学びやふりかえりの活動を積極的に取り入れ，分かる授業の実践や学習態度の育成，学習習慣を定着させるための工夫改善を行い，一人一人に応じたきめ細やかな指導に努めたい。また，今年度導入されたタブレット型パソコンをパソコン室以外の教室でも授業の中で効果的に活用したり，図書や資料を充実したり，主体的に取り組み共に学び合う児童の育成に努めたい。

7　学校関係者評価

来年度からの新学習指導要領完全実施により，新しい教科や学習時間が増え，先生方の負担も増えていくことが考えられる。そのような中で，すべての調査対象で目標数値に達成できるようにするのはなかなか大変なことだと思うし，先生方の仕事や負担が増えていくのではないかと思う。先生方には，子供たちに目を向ける余裕をもち，近年の働き方改革と逆行しないように，支援していきたい。

・　今回新たに設定された「うつのみやの良さを知っている」の児童の肯定的回答が目標を上回ったことについて，地域行事への参加，地域連携行事の実施等により，地域と子供たちとの距離が近いということだと考えられる。たくさんの先生方も地域行事に参加するなど，積極的にかかわってくれているのは良いことだと思う。今後も，地域で子供たちが学ぶ活動を実施，支援していきたい。

・　「持続可能な社会」については関心を高めるだけでなく，学校や児童ができることを具体的な行動として継続実践していくことが大切である。宇都宮市は「SDGs 未来都市」に選ばれていることも含め，地域，保護者へ周知し，児童の肯定的回答と教員との差異を無くし，具体的行動の実践化に努めていただきたい。

・　あいさつについては習慣化し，子供たちからの元気なあいさつで元気を頂いている。また中学生，地域，保護者と共にあいさつ運動を行うことで，思いやりの心が育っているのだと思う。児童の自主的な取組の実施や地域協議会の協力，中学校との連携などをとおして，あいさつの状態は全体的に向上しつつあるように感じられる。今後も引き続き，月に１回の「あいさつ運動（登校指導」に協力していきたい。

・　肯定的回答の割合が低かった「読書習慣，ICT 機器の活用，主体的な学習」については，空き教室の利用や図書室の配置などの環境整備，場・時間の確保などの具体的指導の工夫等の取組を期待したい。実際，家庭での子ども生活状況から考えて，家庭学習や習い事の時間と読書の時間をバランスよく確保していくのは難しいことだと思う。読み聞かせボランティア活動の継続を含め，読書の大切さについて気づかせるような取り組みを実践してほしい。

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

今年度も多くの評価項目で良い評価をいただいた。学校の自己評価や保護者，児童，地域協議会委員の皆様方から寄せられた貴重なご意見を真摯に受け止め，次年度の方策について具体的に検討していきたい。

・　児童が，生き生きと充実した学校生活を送れることを目指し，一人一人の自己肯定感を高められるように，認め・励ます指導や支援を継続していくとともに，児童相互や児童と教職員の良好な人間関係づくりに努めていく。

〇「あいさつ」については，まず大人が手本を示し，<u>学校・家庭・地域・地域学校園が連携して元気なあいさつができる児童の育成に努める</u>とともに，「あいさつ隊」などの児童主体の活動についても工夫しながら，次年度も継続して指導に努める。

・「うつのみや学，持続可能な社会 SDGs」や「読書習慣，ICT 機器の活用，主体的な学習」について教職員間で共通理解，工夫改善を図りながら，地域・家庭への協力依頼と周知に努めていきたい。

・「学校からの情報発信」については，今年度，特に学校ホームページの内容の充実と定期的な更新に努めてきた。次年度も地域や保護者と積極的に連携し，学校支援ボランティアの協力を得ながら，学校の取組や児童の頑張りを積極的に発信し，地域と家庭と学校が連携・協力し，児童の健やかな成長に向けて，互いの役割を担っていけるようにしていく。